

企業理念の実践をCSR経営と定義し推進

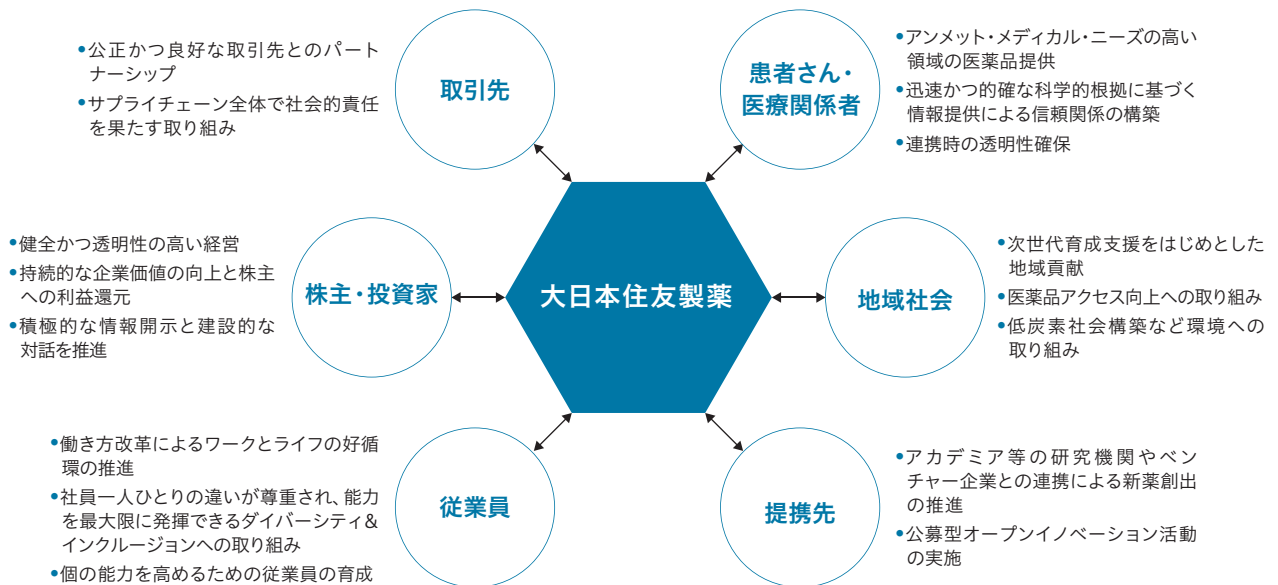
CSR経営の基本的な考え方

当社は、「人々の健康で豊かな生活のために、研究開発を基盤とした新たな価値の創造により、広く社会に貢献する」という企業理念の実践を、CSR経営と定義しています。当社は、革新的な医薬品と医療ソリューションを創出するとともに、人権の尊重、コーポレートガバナンス体制の維持・強化、働き方改革、ダイバーシティ&インクルージョンの推進、従業員の育成の強化、グローバルヘルスへの貢献、医薬品アクセス向上への取り組みなどを通じて、CSR経営を推進しています。

CSR経営の推進にあたっては、国連SDGs(持続可能な開発目標)の達成への貢献も意識しています。当社は、目標3「すべての人に健康と福祉を」への貢献に最注力しながら、幅広い活動を通じて、目標8「働きがいも経済成長も」、目標12「つくる責任つかう責任」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」にも、積極的に貢献していきます。

今後も当社を取り巻くステークホルダーの皆さまとの対話を深め、より一層関係を強化していく必要があると考えています。

ステークホルダーとの関係



SDGsのうち最も重視している目標とターゲット

	3.4	2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。		8.5	2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。
	3.3	2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。			
	12.4	2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。		17.17	さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

→ SDGsの各目標に対する当社の取り組みについてはウェブサイトをご覧ください。 https://www.ds-pharma.co.jp/csr/management/sdgs_efforts.html

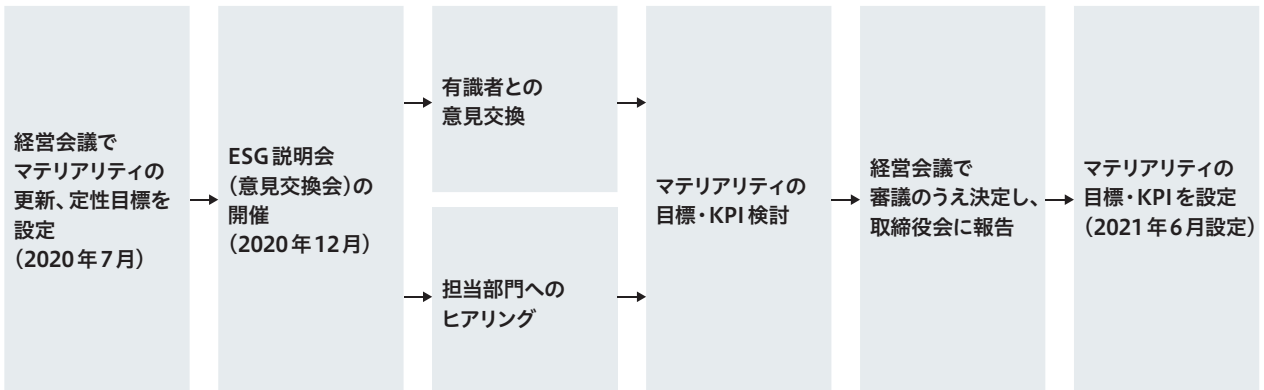
マテリアリティ

当社は2018年度にCSR経営の重要課題(マテリアリティ)を特定しました。その後、ステークホルダーとの対話を通じて得られたご意見を踏まえて、継続的に見直しています。2019年度には、課題解決が当社の持続的成長にとって重要である「価値創造につながるマテリアリティ」と、課題解決が当社の事業活動継続のために不可欠となる「事業継続の基盤となるマテリアリティ」に整理しました。

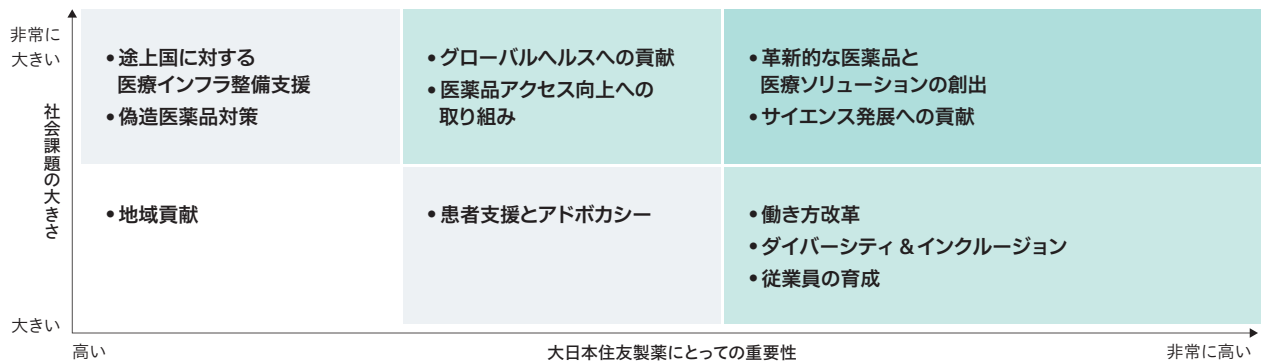
2021年度は、これらのマテリアリティについて事業計画や

経営課題と連動する目標に加え、それぞれの進捗を評価・分析するためのKPIを設定しました。非財務情報も含めた当社の取り組みの共有により、ステークホルダーの皆さまとのさらなる対話の促進につながると考えています。なお、マテリアリティや目標の検討・見直しおよびKPIの設定は経営会議で審議のうえ決定し、取締役会で報告を行っています。

マテリアリティの目標・KPIの決定プロセス(2020~2021年度)



価値創造につながるマテリアリティ 課題解決が当社の持続的成長にとって重要



事業継続の基盤となるマテリアリティ 課題解決が当社の事業活動継続のために不可欠

<ul style="list-style-type: none"> 人権の尊重 コーポレートガバナンス リスクマネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス 公正・透明な企業活動 信頼性保証・安定供給 	<ul style="list-style-type: none"> CSR調達 従業員の健康・安全衛生 環境への取り組み
---	--	--

価値創造につながるマテリアリティ

マテリアリティ	目標	KPI	該当ページ
革新的な医薬品と医療ソリューションの創出 サイエンス発展への貢献	<ul style="list-style-type: none"> アンメット・メディカル・ニーズの高い領域での継続的な医薬品の創出 医薬事業とシナジーが見込める領域を中心とした、将来のヘルスケア領域のニーズに対応する医療ソリューションの創出 	<ul style="list-style-type: none"> 主要な開発品目の進捗 <ul style="list-style-type: none"> 精神神経領域の目標 (ulotaront (SEP-363856) : FY23 上市 (米)、SEP-4199 : 2020 年代後半上市) がん領域の目標 (DSP-7888 : FY24 上市 (日米)) 再生・細胞医薬分野の目標 (小児先天性無胸腺症 : FY21 上市 (米)、パーキンソン病 : FY23 上市 (日)、加齢黄斑変性 : FY25 上市 (日)) その他のアンメット・メディカル・ニーズの高い領域の目標 (レルゴリクス : FY22 子宮内膜症承認 (米)、rodatristat ethyl : 2020 年代後半上市 (日米)) フロンティア事業の目標 (複数品目の事業化 (目標 : FY23-25 上市 (日米))) 初期開発品目の進捗 <ul style="list-style-type: none"> 精神神経領域、がん領域の Ph2 および Ph1 移行数 モダリティ展開の進捗 研究開発員の仕事への意欲 <ul style="list-style-type: none"> 全社意識調査における研究開発員の評価スコア 	P.32
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> 働き方の高度化 ワークとライフの好循環 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員エンゲージメント 離職率 	P.48
ダイバーシティ&インクルージョン	<ul style="list-style-type: none"> 女性社員の活躍推進 LGBTQ の理解促進 障がい者の適材適所での活躍推進 	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率 (10% 以上維持) 管理職を除く幹部社員の女性比率 (15% (2023 年 4 月)) 男性育休取得率 (100%) LGBTQ に関する e-learning 受講者数 ALLY 活動数 障がいを持つ社員の平均勤続年数 	P.52
従業員の育成	<ul style="list-style-type: none"> リーダー人材、グローバル人材の育成 自律・自立したキャリアを自ら実現していく企業風土の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> 選抜型研修受講者数 海外勤務経験者数 英語力強化プログラム受講者数 社内公募件数、応募数 キャリア・コンサルティング相談件数 	P.51
患者支援とアドボカシー	<ul style="list-style-type: none"> 患者さんやご家族、社会の疾患に対するリテラシーの向上 	<ul style="list-style-type: none"> 医療従事者を通じた患者視点での活動 市民公開講座参加者の理解度・満足度 患者団体との協働 (寄付を含む) を通じた支援・活動件数 ウェブサイトを通じた疾患啓発、情報提供 	P.65
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> 社会との調和を意識し、社会の一員としての責任と貢献を果たす 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代育成支援活動における実施実績、受講者の理解度・満足度 社会課題 (災害、障がい者、環境、生物多様性等) 解決に繋がる社会貢献寄付件数 地域毎の慈善活動件数 	P.67
グローバルヘルスへの貢献	<ul style="list-style-type: none"> マラリア、薬剤耐性 (AMR) 菌感染症の治療薬の創出 薬剤耐性 (AMR) 対策と抗菌薬適正使用に関する官民連携強化 健康・衛生・栄養に関する市民啓発の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症領域の開発進捗状況 <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト数 製品数 (上市数) 感染症領域での政策提言の数* AMR 対策支援プログラムに参加した医師・薬剤師の人数 途上国の母子保健支援プログラムで支援した地域住民の人数 	P.64
医薬品アクセス向上への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 服薬に関するリテラシー向上を目指した市民啓発の推進 未承認薬・適応外薬の開発要望への対応 公正な価格での薬剤提供の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 服薬リテラシー向上を目指すプログラム数 未承認薬・適応外薬への対応数 医薬品アクセスに関する当社が貢献した政策提言の数* 	P.64
途上国に対する医療インフラ整備支援	<ul style="list-style-type: none"> 医療人材の育成、保健ネットワークの構築などに対する支援 現地行政や国際機関と連携した薬事規制やサプライチェーンの整備支援 	<ul style="list-style-type: none"> 途上国の母子保健支援プログラムで育成した専門人材の人数 途上国の医療インフラ整備に取り組むパートナーシップ数 	P.65
偽造医薬品対策	<ul style="list-style-type: none"> 偽造品および不正流通の防止 	-	ウェブ

※ 項目の開示のみで、実績数値等は開示しない。

事業継続の基盤となるマテリアリティ

マテリアリティ	目標	KPI	該当ページ
人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> グローバルな動向を踏まえたバリューチェーン全体での人権尊重の推進 国際連合「ビジネスと人権に関する指導原則」に準拠した取り組みの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 人権の尊重に関する基本方針の策定 グループ会社における基本方針の理解と取り組みの推進 サプライヤーを含むビジネスパートナーへの人権尊重の働きかけの推進 	P.86
コーポレートガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> 実効性の高いコーポレートガバナンス体制の追求 経営の独立性の確保および少数株主の利益保護 	<ul style="list-style-type: none"> グループ会社の適切な管理・監督 改訂コーポレートガバナンス・コードへの適切な対応 取締役会実効性評価の実施と評価結果に基づく重点課題への取り組み 少数株主保護に配慮した適切なグループ会社間取引の実施 	P.71
リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> リスク評価と対応策の実行 事業継続計画(BCP)の再構築 適切な情報管理(機密情報、内部情報および個人情報)の管理、ITセキュリティ) 	<ul style="list-style-type: none"> リスクアセスメントの実施および評価結果に基づく適切な対策の検討・実施 事業継続マネジメント(BCM)、事業継続計画(BCP)の再構築および教育訓練 適切な情報管理に向けた教育研修の実施 重大な情報漏えい等の発生件数 	P.82
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> 行動宣言・コンプライアンス行動基準の浸透・実践 コンプライアンス推進体制の適切な運用・ルール整備 内部通報制度の実効性向上 反社会的勢力の排除・腐敗防止の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 重大なコンプライアンス違反件数 コンプライアンス教育研修の実施 コンプライアンス徹底のための取り組み(コンプライアンスリスクの洗い出し・対応策の検討)の実施率 コンプライアンス意識調査の実施 内部通報制度の認知度、理解度、通報件数 	P.84
公正・透明な企業活動	<ul style="list-style-type: none"> ステークホルダー・エンゲージメントの向上に資する誠実な企業活動 	<ul style="list-style-type: none"> ステークホルダー・ダイアログ件数 医療関係者および患者団体との連携における透明性の確保 科学的根拠に基づく適切な情報提供の推進 	P.85
信頼性保証・安定供給	<ul style="list-style-type: none"> 品質保証、薬事における適切性とデータインテグリティの確保 ファーマコビジランス(医薬品安全性監視)における安全性情報の一元管理とタイムリーな安全対策の実施 薬害の発生防止 適切な情報提供による適正使用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> マネジメントレビューの実施 査察・監査対応 安全性情報収集、品質保証、薬害に関する教育の実施 安全性情報の一元管理およびリスクの早期検出 使用上の注意(添付文書)の改訂等の対策の検討・実施 	ウェブ
	<ul style="list-style-type: none"> 3安(安全操業・安心品質・安定供給)の継続 サプライチェーンの強化 	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故発生件数 品質起因による製品回収件数 安全在庫基準の適正化 BCP再構築と強化 サプライヤーへのリスクアセスメントの実施 	ウェブ
CSR調達	<ul style="list-style-type: none"> 公平・公正で透明な取引の実現 	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーへの(調査対象のピックアップおよび)調査の実施 	ウェブ
従業員の健康・安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> 健康宣言“Health Innovation”の実践による健康増進 職場の安全衛生活動、労働災害の防止 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員喫煙率(目標:年-2%) 疾病の重症化予防(特定保健指導対象者の受診率(目標:100%)、産業医の指示による要治療対象者の受診率(目標:100%)) ストレスチェック受検率(目標:100%) 被保険者と被扶養者の特定検診の全員受診(目標:100%) 労働災害度数率ならびに休業災害度数率(営業車両事故除く) 	ウェブ
環境への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 低炭素社会構築 省資源(水、廃棄物) 適切な情報公開、TCFDへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> 2030年度目標および2050年度目標の達成に向けた諸施策の実施 エネルギー消費原単位 廃棄物の再資源化率および最終処分率 環境データに対する第三者保証の取得 「気候変動」および「水」に関するリスクと機会の評価の推進 	P.59